

## ヘルスケア検討会 事業報告

増井孝実\*, 藤原基芳\*

### Annual Report of Meeting for the Study on Medical Equipment

Takami MASUI and Motoyoshi FUJIWARA

#### 1. はじめに

工業製造品で医療・福祉用品は、市場の拡大は確実で、高付加価値製品が密集している分野です。医療機器の進歩に伴い、精密な内視鏡手術はロボットを介して施術することも可能となり、検査データはデジタルで共有され、更に AI が検査の画像データを読み解き、診断するソフトも普及してきています。福祉分野については、人手に頼る業務が多く、慢性的に担い手不足なのですが、それらを補うデジタル技術の導入が進められています。

ヘルスケア検討会は、これら将来性のある医療・福祉製品の、ニーズやシーズの掘り起こしや、情報提供、高等基養育機関との連携、開発支援、試験研究など行っています。

#### 2. アクティブシニアについて

近年、“アクティブシニア”という言葉が耳にするようになりました。シニアは 65 歳以上を指すのですが、その内の健康で趣味、旅行、仕事などに意欲的に取り組まれている層を示します。

団塊の世代が 65 歳を迎えた 10 年ほど前から使われるようになったそうです。

耳慣れないですが、“ノンアクティブシニア”は身の回りのことは出来るが、健康や生活面に不安を抱えている層、次に“パッシブシニア”は要介護の状態にある層という分類がされています。

医療・福祉用品は許認可の問題や流通ルートが異なり敷居が高いため、この購買意欲の高い“アクティブシニア世代”にターゲットを絞った製品開発はとても盛んです。この分野は対応分野が日用品や服飾などまで広がりますので、足掛かりにされやすい選択肢と考えます。

#### 3. 検討会の開催

第 4 回ヘルスケア検討会は、画像処理技術を活用した介護施設向け食事摂取量の測定装置の開発の内容で鈴鹿医療科学大学 医療健康データサイエンス学科長の鶴岡教授にご講演頂きました。

表 1 に「第 4 回ヘルスケア検討会」の概要を示します。

表 1 第 4 回ヘルスケア検討会概要

検討会名	開催日/場所	内容	参加者数
第 4 回ヘルスケア検討会	2024 年 2 月 28 日(火) (オンライン 会議)	1 ヘルスケア検討会の紹介 三重県工業研究所 2 講演「画像処理を利用した摂食栄養量の自動計測システム」 鈴鹿医療科学大学 医療健康データサイエンス学科 学科長・教授 鶴岡 信治 氏	18 名

\* 電子機械研究課